

令和7年4月20日(日)樹木診断会 報告

場所:レジデンシャルコート稲毛

住所:千葉市稲毛区稲毛東1丁目2

4階建て4棟 築23年(築年月:2002年2月) 199戸



レジデンシャルコート稲毛は、JR稲毛駅に近い京成線近くの高台に建つリゾート感あふれる199戸のマンションです。13,700㎡という広大な敷地面積に4棟4階建てを設置した悠然とした構えで、直線約160mの道路に面してワシントンヤシが植えてあり、緑豊かな約450mの遊歩道など、陽光や南風を取り込む工夫がなされた解放感あふれる立地となっています。
“アイランドパティオ”と呼ばれる中庭は、豊かな植栽と広場があり親子でくつろげる快適な空間が広がっています。

樹木診断の希望内容

ご参考: [「ふるさとのみどり第42号」の4頁掲載『新会員ご紹介』](#)

今回は2回目の樹木診断で、特にシュロやワシントンヤシの管理についてアドバイスをいただきたいとのことでした。

樹木診断の流れ:

ご参考: [前回2022年の樹木診断結果](#) [今回の樹木診断開催の案内](#)

今回は2回目の樹木診断で、前回の樹木診断結果と樹木診断の案内を掲示していただき、事前に伺っていた相談内容に関する資料を用意しました。

[「シュロ\(棕櫚\)」や「ワシントンヤシ」の管理のポイント](#)

当日は13時半に集会所前に集まっておいただき、当協議会の関係者および樹木医大矢先生の挨拶後に、敷地内をまわり都度アドバイスをいただいた。最後に集会所にて質疑応答や意見交換をし15時半に終了しました。

樹木診断会の様子とアドバイス等

1. ワシントンヤシ



実生木 →

公園内は市の管理となりますが、枯れ葉が落下していました。



手前の2本は公園内

中庭のワシントンヤシ(当初の高木は台風で根本から倒れ、実生木を植え直し現在にいたるとのこと)管理として古葉(枯葉)除去・剪定などを適切に行なえば問題なく、中心部の芯(成長点)を切ってしまうと枯れるので注意が必要とのアドバイスがありました。
高くなったワシントンヤシの剪定作業は費用がかかるので、植栽管理業者より植替えの提案もあるとのこと。

2. シュロ

等間隔に植えてあった「シュロ」は多くが枯れてしまった。

→

土壌の問題やカズラなどの巻き付きによる影響等が考えられる。



3. サワラの生垣



前回の診断時から改善されておらず枯れた木もあります。枯れた木は、取り除き植替えをおすすめします。
 一部の小さな枝枯れ部分は取り除けば、廻りから新しく枝が広がり塞がれると思われます。
 枯れ葉が生垣内部で積もっています。風通しをよくするよう取り除くことをおすすめします。（前回の樹木診断会の報告書もご参照ください。）

4. 病害虫の状況



カイガラムシの排泄物による影響で煤病が発生しています。カイガラムシの駆除にマシン油乳剤の散布をしますが建物にかからないように注意が必要とのこと。

褐斑病(かっぱんびょう)が確認されました。病斑のある葉は早めに除去(焼却)してください。



5. その他

桜の枝は強剪定しても、切り口に殺菌癒合剤をぬるなど適切な処理をすればよいとのこと。

